

令和3年度

第2回進路説明会資料

次 第

1. 進路に関する基礎知識
 2. 公立高校の入試選抜について
 3. 私立高等学校の入試選抜について
 4. 10月以降のおもな予定
 5. 今年度のおもな日程(予定)
- 付録1 よくある質問Q&A
- 付録2 今後の提出書類の様式集(変更可能性あり)

令和3年10月8日(金)

横浜市立浦島丘中学校

1. 進路に関する基礎知識

1. 進路を考えるにあたって

(1) 自分をよく知り、自分を活かせる進路を

自分の適性、能力、特技、長所、興味関心など、自分の個性に合い自己実現できる進路を。

(2) 進路先の情報を集めること

説明会やオープンスクールに積極的に参加を。受験ガイド、パンフレット、高校HPなども活用を。

(3) 積極的に話し合い、相談すること

保護者と十分に話し合い、担任との進路面談も有効に。

(4) 希望実現に向けて努力すること

特技や長所を伸ばす努力、学力向上のため地道な取り組みを。

2. 就職について

(1) 一般論として

不景気や産業構造の変化で、中卒者対象の求人は年々減少する傾向にある。

※ 就職希望の決定は早い時期に。年が明けてからでは選択肢は少なくなる。

※ 就職活動はできるだけハローワーク(職業安定所)を通じて。

(2) おおまかな流れ

① 求人一覧表の中から、自分の希望や適性を考え事業所をさがす。

② 事業所と連絡をとり、見学・説明を聞く。

③ 確定したら「職業相談票」をハローワークに提出。

④ 採用試験(1月中旬頃から)を受け、採用決定したら3月下旬くらいから出勤。

3. 高校以外のおもな進学先

(1) 専修学校

○ 専門技術者の養成を目的とする学校。中卒者を対象とするものを「高等課程」という。

○ 工業、衛生(調理・美容)、商業実務、服飾家政、文化教養(語学・芸術)の分野がある。

○ 大学受験資格や高校卒業資格が与えられる学校も増えている。

(2) 各種学校

○ 専門技術者の養成を目的とするが、設置基準が専修学校とは異なる。

(3) 高等職業技術校

○ 職業に関する技能・技術を身につけることを目的とする。

○ 高校卒業資格は取れない。

また、高校卒業以上の者を対象とする学校・学科もあるので注意。

○ すべて県立。高等学校同様に再編が行われている。

(4) 高等専門学校(高専)

○ 一般教養と専門的知識・技能を身につけることを目的とする。工業系の学科が多い。

○ 修業年限は5年。短大卒業(準学士)の資格になり、大学に3年から編入が可能。

4. 高等学校について

(1) 志望校選びのポイント

- 進学の実目的や将来の希望を考へ、目的に合った学校を選択する。
- 教育方針を第1の選択基準に。(学校の方針、学習指導・生活指導の指針など)
- 学校の特色を正しくつかむ。(教育課程、部活・行事、施設・設備、取得資格、進路状況)
- そのために、説明会などで情報の収集を。通学時間・距離なども考慮して。

(2) 設置者のちがいによる高等学校の分類

- ① 公立高等学校……県立高校と横浜市立・川崎市立・横須賀市立高校。
- ② 私立高等学校……民間の学校法人が設置・運営する高等学校。

(3) 課程のちがいによる高等学校の分類

- ① 全日制……朝から午後の時間帯で授業を行い、通常3年で卒業できる。
- ② 定時制……夜間その他特別な時間帯(昼間定時制・3部制など)に授業を行い、3年または4年で卒業できる。部活動もある。
- ③ 通信制……従来は家庭での学習およびレポート提出とスクーリングによって単位を修得するシステムであったが、登校型も増えている。学習の仕方によっては3年で卒業できる。

(4) 学科(学習内容)による高等学校の分類

- ① 普通科(学年制)……普通科目(国・社・数・理・英など)の学習が中心であり、各学年のカリキュラムはほぼ決まっている。学年が上がると進路(文系・理系など)によって一部の科目を選択。
- ② 普通科専門コース……(県立高校の専門コースは平成29年度入学生から募集を停止しています。)共通教科の科目の学習を主としながら、コースに関する専門的な科目を3年間で10～20単位程度学習する。
- ③ 単位制普通科……3年間で必要な単位数を習得することで卒業できます。共通教科の科目を中心に、自分の興味・関心、進路に合わせて科目を選択し、学習することができます。
※ 単位制普通科のうち、1日に授業が8～12時間目まで設定され、各自自分の生活スタイルに合わせて科目や時間帯を選んで学習できる学校をフレキシブルスクールという。
- ④ 総合学科……幅広い共通教科の科目と専門科目の中から各自が特色ある科目を選択して、単位制の仕組みによって学びます。自分の個性・適性を発見し、将来の進路を考える学習を重視し、原則として入学年次に全員が「産業社会と人間」という科目を学びます。体験的な学習や実習を重視した授業を展開します。
- ⑤ 専門学科(専門高校)……工業・商業・農業などの高校。専門的な知識・技能を身につけるため、それぞれの専門分野に関する科目を学びます。大学や研究機関、企業と連携した授業も行われる。
- ⑥ クリエイティブスクール……学習への意欲を高め、「わかる授業」の展開や「実体験からの学び」を推進するため、1クラス30人以下での展開等の新たな仕組みを導入している。入学者選抜では学ぶ意欲を重視した選考が行われる。

(5) サポート校

- 通信制高校と連携し、その学校のカリキュラムと通信制高校のカリキュラムを学習する。
- 高校卒業の資格は取れるが、サポート校の学費と通信制高校の学費が必要になる。
- 10月頃から募集や入学試験は始まるので、見学や検討は早めに。

☆インクルーシブ教育実践推進校について

城郷、川崎北、霧が丘、上矢部など県内14校で募集を開始。障害がある生徒も高校とともに学ぶための取り組みがある。

5. 高校説明会について

- 説明会、施設見学、授業見学、体験授業、オープンスクール、体験入部、文化祭などに積極的に参加し、行きたい学校の情報を集めるとともに、その学校の雰囲気を経験することが大切。
- 同じ名前の学科であっても、学校によって特徴や重視しているものや施設・設備などは異なる。複数校を見学し、よく比較・検討することが望ましい。
- 私立高校では、受験するための条件として説明会参加を義務付けている学校や、説明会参加者に加点を行う学校もある。
- 12月の保護者面談で、受検（験）校決定となるため、11月中までに説明会に参加する必要がある。
- ほとんどの私立で、これまで（2年最後と3年1学期）の成績をもって個人相談を受けると、基準の確認をしてもらえます。
- 今年度については、HPから個人で申し込むところがほとんど。人数制限があるため早めの予約が必要。
- リモート開催やHP開催の学校も増えてきている。

2. 公立高校の入試選抜について

1. 入試制度の概略

① 志願資格

中学校(または中等教育学校前期課程等これに準じる学校)を卒業または令和3年3月卒業見込みの者、かつ、本人および保護者の住所が神奈川県内であること、などが条件です。

② 学区

- 県立高校には学区はありません。県内すべての県立高校を自由に受検できます。
- 横浜市立高校の普通科・総合学科の学区は横浜市内全域。(戸塚高校音楽コースを除く)
- 川崎市立高校の普通科(全日制・定時制)の学区は川崎市内全域です。したがって、本校の生徒が川崎市立普通科を受検する場合は学区外受検(合格者は定員の8%以内)になります。
- 横須賀市立高校の学区は県内全域です。
- 横浜市立高校の専門学科(横浜商業、サイエンスフロンティア)と川崎市立高校の専門学科の学区は県内全域です。

※ 本校の生徒が学区外ではなく普通に受検できる高校は、すべての県立高校、すべての横浜市立高校と横須賀市立高校、川崎市立高校の専門学科になります。

③ 選抜の方法

選抜の機会は、全日制は共通選抜の1回、定時制・通信制は共通選抜(募集定員の80%)と定通分割選抜(募集定員の20%)の2回です。検査の内容は、全日制・定時制が共通の検査(学力検査・面接)。通信制が面接または作文です。高校によっては、他に特色検査を行う場合があります。

2. 近年の募集に関する変更点

16号様式が廃止になりました。(1OP参照)

第1次選考における数値算出方法の比率が変わっていたり、重点化される教科が変更されていたりする学校がありますので、詳しくは3年生向けに配っている募集案内(緑の本)を参考にしてください。

3. 共通選抜について

- ① 募集人員は全日制が募集定員の 100%、定時制と通信制は募集人員の 80%です。(夜間以外の定時制では、募集定員すべてを募集します。)
- ② 募集期間は1月25日(火)～2月1日(火)です。
- ③ 出願時に「入学願書」「面接シート」「受検料」を志願先の高校に提出します。高校によってはそれ以外の提出物が必要な場合もあります。(特色検査に関する書類など)
- ④ 受検料は、全日制は2,200円、横浜市立の定時制は650円、他の定時制は950円です。県立高校、横浜市立高校、川崎市立高校の場合は、受検料を指定金融機関に納付した証明書を願書裏面に添付、横須賀市立高校の場合は現金持参です。なお、通信制の受検料は無料です。
- ⑤ 志願変更はすべての課程、学科、コース、専攻、部において1回にかぎり行うことができます。志願変更期間は2月4日(金)～8日(火)です。
- ⑥ 選考は2月15日(火)～17日(木)に、全日制・定時制で「共通の検査(学力検査・面接)」が、通信制では「面接または作文」が行われます。高校によっては、「特色検査(実技検査・自己表現検査)」を行う場合があります、18日(金)まで行う学校もあります。全日制・定時制では、第1次選考で募集人員の90%まで選考し、残りの10%を第2次選考(資料のない人等に配慮した選考)で選考されます。第1次選考は、調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出方法が用いられます。通信制では、調査書と実施した検査をもとに総合的に選考されます。

⑦

<数値算出方法>

○調査書の評定A・学力検査の得点B・面接の結果Cとします。

A : (2年生の成績) + (3年生の成績) × 2

※3教科以内で2倍まで重点化する高校あり。

B : 学力検査の合計点

※2教科以内で2倍まで重点化する高校あり。

C : 面接の結果

○A・B・Cそれぞれを100点満点に換算したものa・b・cを各学校が定めた比率で合計数値を算出します。

合計数値 $S = a \times f + b \times g + c \times h$

(f・g・hは2以上の整数で、 $f + g + h = 10$)

○特色検査を実施した場合は、その結果をDとし、100点満点に換算したdを加えます。

合計数値 $S = a \times f + b \times g + c \times h + d \times i$ (iは5以下の整数)

- ⑧ 合格発表は3月1日(火)に行われます。受検票を提示して合否結果通知書を受け取り、さらに合格者は合格通知書と必要書類を受け取ります。

4. 定通分割選抜について

- ① 募集人員は、その学校の定員から共通選抜合格者を除いた人数です。
- ② 共通選抜で合格にならなかった人は、改めて定通分割選抜に志願できます。ただし、すでに国立、公立及び私立の高等学校等に合格している人は、定通分割選抜に志願することはできません。
- ③ 募集期間は3月3日(木)・4日(金)です。
- ④ 出願時に「入学願書」「面接シート」「受検料」(金額や納付方法は共通選抜と同じ)を志願先の高校に提出します。高校によっては、その他の提出物が必要な場合もあります。(特色検査に関する書類など)
- ⑤ 志願変更はすべての課程、学科、コース、専攻、部において1回にかぎり行うことができます。志願変更期間は3月7日(月)・8日(火)です。
- ⑥ 選考は3月11日(金)、14(月)に、定時制で「共通の検査(学力検査・面接)」が、通信制では「面接または作文」が行われます。高校によっては、「特色検査(実技検査・自己表現検査)」を行う場合があります。
- ⑦ 定時制では、調査書の評定(2・3年)と実施した検査の結果をもとに定められた数値算出方法が用いられて選考されます。通信制では、調査書と実施した検査をもとに総合的に選考されます。
- ⑧ 合格発表は3月18日(金)です。方法は共通選抜と同様です。

5. 二次募集について

- ① 公立高校の二次募集は欠員(定員割れ)の生じた学校しか行いません。
- ② 二次募集は、その時点で国立、公立及び私立の高校学校等のいずれにもまだ合格していない人だけが受検できます。(私立高校の二次募集も同じ条件です)
- ③ 出願時に「入学願書」「面接シート」「受検料」を志願先の高校に提出です。受検料は現金持参です。
- ④ 全日制、定時制(夜間以外)は、募集期間3月3日(木)・4日(金)、志願変更3月7日(月)・8日(火)、学力検査等3月10日(木)、合格発表3月16日(水)です。
- ⑤ 定時制(夜間)、通信制は、募集期間3月22日(火)・23日(水)、志願変更3月24日(木)、検査3月25日(金)、発表3月29日(火)です。

6. その他

○ 保護者が海外からの移住者である人、障害等があり受検方法に配慮の必要な人、長期欠席について特別な事情を有する人については、選抜方法の申請ができますので、担任にご相談ください。

3. 私立高等学校の入試選抜について

1. 私立高等学校の受験区分(受験方法)

概ね以下の表のようになりますが、私立高校の受験制度は公立高校のように統一されたものではありません。高校によっては例外もあることに注意してください。

	受験区分	受験(検)できる学校	条件・その他
推薦	推薦	私立高校1校のみ	①合格したら必ず入学。 ②学力試験がない場合が多数。面接、調査書、推薦書(学校によっては作文なども)によって合否を判定。 ③その高校が求める条件を満たしていること。(学力だけではなく、その高校にふさわしい資質かも問われる) ⑤ 学校長が推薦すること。 ⑥ 高校・中学校間の入試相談が必要。(12月)
	一般専願	私立高校1校のみ	① 合格したら必ず入学。 ②多くは学力試験あり。一般には国・数・英。これと面接、作文、調査書などで合否を判定。 ③その高校が求める条件を満たしていること。 ③ 高校・中学校間の入試相談が必要。(12月)
一般	一般併願 (併願優遇)	公立高校と私立高校1校	①公立共通選抜で不合格の場合は必ず私立に入学。 ②学力試験あり。一般には国・数・英。これと調査書などで合否を判定。 ③その高校が求める条件を満たしていること。 ④ 高校・中学校間の入試相談が必要。(12月) ⑤ 多くの学校は他の私立高校との併願は不可。
	オープン	オープンでは複数の私立を受験可。	①合格しても必ず入学する必要はない。 ② 学力試験のみで合否を判定。 ③ 入試相談なし。

2. 推薦受験について

- ① 推薦で受験できる学校は1人1校だけです。
- ② 推薦受験で合格した場合は辞退や取り消しはできません。合格したら直ちに入学手続きを行ってください。
- ③ 推薦受験は、本人と保護者の両方が希望し、さらに推薦基準を満たし中学校長が推薦することが条件です。

3. 一般専願受験について

- ① 専願(単願ともいう)で受験できる学校は1人1校です。
- ② 専願で合格した場合は辞退や取り消しはできません。

4. 一般併願受験について

- ① 基本的には公立高校との併願です。一部には私立校との併願を認めている学校もあります。
 - ② 一般に**併願は専願よりも合否の基準は高めになります。**
 - ③ 合格した場合の流れは次のようになります。
 - ◇ 併願で合格 → 公立(全)共通選抜を受検 → 公立合格 → 私立校には中学校を通じて入学辞退。
 - ◇ 併願で合格 → 公立(全)共通選抜を受検 → 公立不合格 → 直ちに私立校へ入学手続き。
- ※ この場合以後の公立高校の入試(定通分割選抜・二次募集など)は原則として受検できない。
- ④ 併願を受験する場合は、入学金や施設費等の延納の可否も事前に確認してください。

5. 入試相談について

- ① 入試相談は12月15日頃から始まります。12月の三者面談において私立の受験校および受験方法を確定し、中学校が手続きをとります。
- ② 入試相談の期間は学校によって様々ですが、短い場合は1~2日で締め切りになる学校もあります。

相談期間終了後の追加はできません。入試相談を通さないとオープン受験扱いになってしまいます。
- ③ 中学校と高校との信頼関係の上に成り立っている制度なので、入試相談終了後の変更はできません。
- ④ そのため、神奈川県では入試相談は複数校に同時に出すことはできません。

6. 特待生制度について

多くの私立高校には特待生制度があります。成績優秀な生徒やスポーツ・文化活動で顕著な成績を挙げた生徒に対して、授業料等の費用を軽減または免除するものです。学校によって基準や免除する額は様々です。また、推薦だけではなく併願の生徒にも適用する学校もあります。

成績や実績によって、入学金免除、施設費免除、授業料3年間免除、1年間免除、授業料半額、さらにこれらの複数適用などがあり、公立高校よりも学費が安くなるケースもあります。

4. 10月以降のおもな予定

1. 10月の三者面談について

第2回進路希望調査(各自の進路希望)、1学期の成績、高校説明会等で各自が得てきた情報などをもとに、進路先選択に向けての方針を確認します。

① 受検(験)したい高校・科・コースなどを絞り込む。

② 受検(験)のパターンを考える。

例1：公立高校のみを受検（共通選抜→定通分割選抜……の順に受検）

例2：私立1校を推薦または専願で受検

例3：公立高校と私立一般併願を受検(験)

例4：私立オープンと私立併願可の私立高校を受検

③ 2学期の成績(12月)が上がった場合、仮成績とほぼ変わらなかった場合、下がってしまった場合のそれぞれについて、受検(験)校の組み合わせや方向性を考える。

2. 12月の三者面談について

① 第3回進路希望調査(10月面談の内容や2学期期末テストの結果を踏まえてのほぼ最終的な進路希望)、2学期(12月)の成績をもとに、受検(験)校を確定します。

② 面談時または面談最終日までに「受検(験)校確認票」を提出していただきます。入試相談の日程上、私立の受験校や受験方法は提出後の変更はできません。

③ 公立については原則的には確定ですが、様々な状況によって変更の必要が生じた場合は、1月に最終確定します。ただし、12月中に確定している方が面接シートを具体的に書きやすいなどの利点があります。

④ これ以後も必要に応じて面談を行いますので、遠慮なく担任に申し出てください。

2. 出願に向けての準備（～冬休み）

① 私立高校の入試相談において、学校外での活動(市や県のコンクールでの表彰、学校外のスポーツ団体やボランティア団体などでの活動歴)や、英検・漢検・数検などの級などが内申点に加算されるものがあります。加点にあたり、各種検定の級や、珠算・書道・柔剣道その他スポーツの級または段については、合格証書が必要になりますので確認のため、担任に提出してください。終了後は返却いたします。また、認定団体の正式名称・取得(受賞)年月日を知らせていただく場合があります。

② 私立高校の入試基準において、欠席日数が条件の1つになっている場合があります。ただし、一部の私立高校では、欠席日数が基準を超えていても、医師の診断書等があれば可としていますので、該当する人は準備しておいてください。

③ 公立高校の願書や面接シートは、中学校に人数分送られてきますので、個人で準備する必要はありません。私立高校の願書は各自で取り寄せてください。各私立高校の事務室で受領できます。これも面接試験の一部と考えて、しっかりとした服装や言葉遣いを心がけてください。

④ 願書に貼る写真は冬休み中に各自で準備してください。服装は標準服です。

サイズや枚数は学校によってちがいますので、願書を見て確認してから撮りに行ってください。公立高校の場合は、願書1枚につき写真1枚、サイズは4cm×3cmです。

※今年度は11月16日(火) 希望者に700円～で撮影車にて撮影(浦中において)

- ⑤ 冬休み中に願書の下書きをしておいてください。うすく鉛筆書きでも、コピーをとって記入でも、どちらでもかまいません。写真はまだ貼らないでください。公立高校を受検する人は面接シートの下書きもすませておいてください。(願書は担任チェック後にボールペンで清書)
- ⑥ 公立高校の入試、私立推薦入試では面接があります(一般入試で面接を行う私立高校も多い)。学校でも面接練習を行います。冬休み中に面接の答え方を考えておくとよいでしょう。個人面接・集団面接・保護者同伴面接など、面接の形態も募集要項で確認しておいてください。

4. 学区確認申請・志願資格承認申請(1月初中旬締め切り)

一昨年までは①②の申請(16号様式)が必要でした。昨年度からは必要ありません。

- ① ~~県立高校の志願資格は「本人・保護者の住所が神奈川県内にあること」です。県外への単身赴任等により、保護者の住所が県外にある場合は志願資格承認申請が必要になります。~~
- ② ~~横浜市立高校の普通科・総合学科は横浜市内が学区です。保護者の住所が県内であつても横浜市外の場合、上記学科を受検するためには学区確認申請が必要になります。~~
- ※ ~~①と②に関しては、中学校から申請ができますので、保護者の正しい住所を担当にお知らせいただくだけで結構です。個人で動いていただく必要はありません。~~
- ③ 川崎市立高校の普通科は川崎市内が学区です。川崎市内に転居をするなどの理由で川崎市立高校の普通科を学区内として受検する場合には、転居を証明する書類を添えて学区確認申請をすることが必要になります。
- ④ 転居等の理由により県外の公立高校を受検する場合は、転居先の都道府県での志願資格を得るため、転居先の都道府県教委に対して③と同様の手続きを行う必要があります。
- ※ ③と④に関しては、中学校からの申請はできませんので、個人申請になります。学区確認申請や志願資格承認申請が必要と思われる場合は、面談時に担任にご相談ください。特に④の場合は面談を待たずに早めにお願ひします。

5. 出願について

- ① 公立共通選抜出願は1月25日～2月1日、公立定通分割選抜と、全日制・定時制(夜間以外)二次募集の出願は3月3日～4日です。また、定時制(夜間)・通信制二次募集は3月22日～23日です。昨年度から、原則公立共通選抜の出願は中学校から郵送となります。それ以外の公立高校に関する試験は初日に出願します。私立高校の出願については各高校によって異なります。
- ② 公立共通選抜、公立定通分割選抜の出願に必要な書類は「入学願書」「面接シート」です。学校によってはその他の書類(特色検査に関する書類)が必要な場合もあります。これらは出願時に各自で志願先高校に持参します。郵送による出願は認められていません。なお、「調査書」は中学校から送付します。
- ③ 私立高校推薦入試の出願に必要な書類は「入学願書」「推薦書」です。学校によってはその他の書類(面接用カードや結果通知用返信用封筒など)が必要な場合もあります。これらと「調査書」を各自で志願先高校に持参します。
- ④ 私立高校一般入試の出願に必要な書類は「入学願書」です。学校によってはその他、延納願等の書類が必要な場合もあります。これらと「調査書」を各自で志願先高校に持参します。
- ⑤ 一部の私立高校は郵送出願です。必要な書類を準備し、担任から調査書を受領し、必ず指定された期間内に郵送してください。「消印有効」の学校と「必着」の学校があるので注意してください。
- ⑥ 一部の私立高校はネット出願です。準備期間と出願期間がある学校や、証明写真のデータが必要な学校、画面を印刷して中学校に提出する学校、印刷したものを郵送する学校等様々です

6. 志願変更(公立共通選抜・定通分割選抜)について

- ① 公立高校の共通選抜、定通分割選抜および二次募集においては、それぞれ1回だけ「志願変更」できます。
- ② 志願変更期間は、共通選抜は2月4日～8日、定通分割選抜と全日制二次募集は3月7日～8日です。定時制・通信制二次募集は3月24日です。
- ③ 志願変更にあたって必要なものは「受検票」「志願変更願」「保護者の印鑑」「面接シート」です。(ただし、特色検査に関する書類の提出が必要な学校もあります。)
- ④ 志願変更は、中学校で書類作成 → 変更前の高校で志願取り消し手続き → 変更後の高校で再出願、という手順になります。手続きが複雑な上、移動距離・時間がかかりますので、万一変更する必要がある場合は早めに動いてください。

7. 入試当日について

- ① 原則として、自宅から直接入試会場に行き、終了後は直接帰宅します。早く終わっても浦中に登校する必要はありません。出席扱いになります。
- ② 入試のない人は、通常の時間に浦中に登校してください。
- ③ 入試当日に大雪や交通機関の混乱が生じた場合は以下のようになります。
 - ア.公立共通選抜と定通分割選抜の学力検査の当日に全県的な災害(大雪・大雨など)が発生した場合は、ラジオで対応の指示が出ます。
 - イ.地域的な問題(交通機関の遅れなど)の場合は、どの高校も入試を実施します。必ず浦中に連絡をとり、無理をせずに受検校に行く努力をしてください。
 - ウ.公立共通選抜と定通分割選抜の面接等の検査の日や、私立高校の場合は、指定された時間にもよりますが、基本的には「イ」と同様です。

8. 合格発表について

- ① 公立高校の合格発表は、昨年度からインターネット上で行っています。
検査当日に配布されたパスワードを使い、午前9時に合格発表WEBサイトで合否の確認をする。
 - ② 合格者のみ受検先の高等学校に行き、受検票を提示して合否結果通知書を受け取ります。
合格通知書と入学手続きに必要な書類を受け取ります。
 - ③ 私立高校の合格発表は、学校によって手渡し・郵送など様々です。また、時間も学校によってそれぞれ異なります。郵送や電報の場合も後日必要書類の受領のために受検票が必要になります。
- ※ 公立・私立ともに、受検票は入学が確定するまで大切に保管してください!
- ④ 発表後は必ず浦島丘中学校に結果を報告してください。
 - ⑤ 合格しても期日までに手続きをしないと入学辞退とみなされ、合格が取り消されてしまいます。
- ※ 公立高校の入学金は、全日制は5,650円、横浜市立の定時制は1,200円、県立・川崎市立・横須賀市立の定時制は2,100円、通信制は無料です。私立高校は学校によって異なります。

9. その他

公立高等学校の募集に関する変更点としては、3年生は夏休み前の3者面談で渡された募集案内をご覧ください。1, 2年生の保護者の方は資料がありますので、秋澤までお問い合わせください。

5. 今年度のおもな日程(予定)

9月末現在

月	おもな予定		備考
10	○2学期中間テスト(4・5日) ○第2回進路説明会(8日) ○第2回進路希望調査8~15日 ○職業相談(ハローワーク:希望者のみ) ○3年三者面談(28~4日)	進路 選 択 ・	○進路希望、志願・選考方法を徐々に絞り込む ○求人一覧表により就職相談 ○受験(検)パターンの確認
11	○2学期期末テスト(15~17日) ○進路用写真撮影(希望者のみ16日) ○第3回進路希望調査(下旬)	学 校 見 学 等	○結果と前期成績を参考に進路希望先を検討 私立高校の情報を考慮しての相談 ○希望・成績等を踏まえて方針の確認
12	○2学期成績発表(進路成績) ○三者面談(月上旬) 学区・志願資格確認 私立受験校の確定(三者面談) 校長面接(私立推薦受験希望者対象) ○入試相談(15日、中高相談) ○公立願書・面接シート等配布(中下旬)	書 類 準 備 ・ 試 験 準 備	○ <u>方針の確定、受験(検)校の確定</u> ○ <u>私立はこれ以後の変更は不可</u> ○公立は年内には受験校を決め準備を始める
冬 季 休 業	25日(土)~1月6日(木) 始業式(7日)		必要なことを行う。 ・面接シート記入 ・私立高校願書調達(私立受験者のみ) ・願書下書き(担任確認後本書き) 等
1	○私立推薦入試 ○公立受験料振込(中旬) ○公立・共通選拔出願(25~1日)		○県立、市立、定通等により日程、金額が違う ○各種申請
2	○学年末テスト(月上旬) ○公立・志願変更期間(4~8日) ○私立一般入試 ○公立共通選抜(15~18日)		○学力検査は15日 16・17・18日で面接・特色検査
3	○公立合格発表(1日) ○私立二次募集 ○公立二次・定通募集(3・4日) ○公立二次・定通志願変更(7~8日) ○公立二次学力検査(10日) 定通学力検査(11・14日) ○二次発表(16日)、定通発表(18日) ○定通二次募集(22・23日)		○二次募集・定通分割選抜は <u>どこにも合格していない人が対象</u> 。定員割れのあった学校のみ二次募集がかかる。 ※二次募集と定通分割は同時出願可能。

※コロナ関係の日程は募集案内(緑色の本)の1ページ目に記載してあります

感染者または濃厚接触者と認定され2月の検査を受けられなかった場合

検査(試験)の期日 3月10日(木)

合格発表 3月16日(水)

よくある質問Q&A

1 ●併願は1校だけですか？ ●私立はどこでも併願できるの？

●公立は2つ受けることはできますか？

●私立と公立を受けて公立が受かってでも私立に行くのはありですか？

A 公立を2つ受けることはできません。（国立と県立の2つ受けることは可。）

私立の併願は基本的に1校ですが、「私立併願可」と明記している高校の場合は、オープン受検（当日の学力試験で合否が決まる）で他の高校も受検することができます。

公立は合格した場合必ずその学校に入学することが基本です。

2 ●面接ってどんな感じなんですか？

A 面接は個人面接とグループ面接がありますが、今年度はほとんどの学校が個人面接で行いそうです。公立の場合は自分が事前に提出した「面接シート」の内容について質問されます。

私立も質問される内容は「志望動機」や「高校でがんばりたいこと」「中学校でがんばってきたこと」「自分の長所」などは聞かれることが多いと思います。3年の2学期から面接についての説明や練習などをしていく予定です。

3 ●入試などの対策はどのようなことをするのか？

A 入試は基本的に中学校3年間のまとめとして総合的に出題されるので、基本的には学校の授業をしっかり復習することが対策につながると思います。分からないことをそのままにせず、教科の先生にたくさん質問しましょう。

4 ●成績基準とはどんな感じですか？

A 私立の成績基準とは、各学校が定めた合格ラインのようなものです。その基準は高校によって違うので、各学校の説明会などで確認しましょう。

5 ●川崎市立は受かりづらいですか？

A 横浜市在住の中学生が川崎市立の高校を受検することはできますが、その枠は川崎市立の普通科の場合、定員の8%以内なので狭き門ではあります。

6 ●推薦はどうやってとるんですか？

A 推薦とは中学校の推薦を受けて受検するものです。公立には推薦はありません。私立高校で指定した成績基準をクリアしていることが条件で、進路希望調査や面談などで担任の先生にその意思を伝えてください。その後、中学校として推薦するにふさわしいか（普段の学校生活態度）を含め、校長面接を経て、推薦受検するか決定します。推薦受検は高校によっては、面接のみや書類審査など、違いがありますので、ご確認ください。

7 ●特色検査とはなんですか？どのような対応をすれば良いですか？

A 学力試験・面接・調査書以外に特色検査を実施する学校もあります。特色検査とは自己表現検査やスポーツの実技、美術の実技など様々です。中でも多いのは自己表現検査ですが、そのほとんどは与えられたテーマに対して自分の考えを作文にします。またグループで議論したり、スピーチする学校もあります。対策としては、受検近くには過去問題を参考に実際に取り組むことが良いと思います。その場合は相談してください。今は普段から色々なことに対して自分の意見をしっかりもち、場合によってはしっかり主張していくことが対策になると思います。

8●～科、～コースというのがよく分からない。

A 一般的に多いのが「普通科」ですが、中学校の授業の延長と考えるとイメージができると思います。教科が中心のカリキュラムで大学進学を目指す人に適した学科だと思っています。「専門学科」は商業科・工業科・農業科・看護科・福祉科など職業系の進路に直結する専門知識や技術を学ぶことができます。英語科・国際科・理数科など普通教育をより高度に展開させる学科や、体育科・芸術科といった個人の特性を伸ばすための専門学科もあります。「総合学科」は普通教科から専門学科まで、自分の興味関心や進路希望に応じて幅広く柔軟に履修できるのが特徴です。

「～コース」というのも、特に私立はたくさんありますが、その目的や内容も学校ごとに様々ですので、パンフレットや説明会などで詳しい内容を確認しましょう。

9●自分に合った高校のを見つけ方を教えてください。●行った学校が荒れていたら不安。

A 自分に合うかどうかはとにかく実際に高校を見学し、説明会や文化祭など、在校生の雰囲気を感じてくるのが大切です。資料やネット、うわさ等で全てを判断せず、自分の目で確かめてください。浦島丘の先輩では1つの高校に5～6回、全部で10校以上見学に行った先輩もいます。とにかくたくさん見て感じることで、あとは自分が何を大切にするか（卒業後の進路？部活動？雰囲気？）が進路決定に必要な不可欠です。

10●私立か公立か悩んでいる。

A 授業料に関していえば、公立は地方自治体が設置者で私立に比べて授業料が安く、国の就学支援金制度の適応により、授業料は実質無料になります。私立の場合は、授業料は公立よりも高く学校により金額差が大きいです。しかし、国や県の学費等補助制度や特待生、奨学金制度を設けている学校も多くあります。また私立の場合はその学校独自の教育方針があるので、特進コースや専門コースなど多様にわたる指導体制を整えています。

いずれにしても3年間通う学校です。家族でしっかり相談し、じっくり検討しましょう。

11●高校で部活に入らないってありますか？

A 大丈夫だと思います。（体育科とかスポーツコースの場合は必ず入部するとは思いますが。）

12●高校の雰囲気で決めたいのですが、どういう風に雰囲気を知れますか？

A 雰囲気はとても大事ですね。高校見学会やオープンスクール、文化祭など実際在校生と触れ合える機会・行事がたくさんありますので、是非肌で感じて雰囲気を知ってください。

13●高校の学費や補助金のお話を具体的にしてくれませんか？

A 就学援助制度には大きく2つあります。「貸付け（返還必要）」と「返還不要」です。保護者の給与やまねに生徒の成績など、条件があります。

公立の授業料は118,800円ですが、国の就学支援金制度によって授業料は実質無料になります。私立は入学金・施設料など含め、初年度費用はおおよそ70万～120万と様々です。しかしながら、就学支援金制度の他に、県の私立高等学校等生徒学費補助金や各学校で設けている奨学金や給付金、母子父子寡婦福祉資金という制度もあり、条件も様々なのでご自身で確認していくしかないと思います。

ほとんどが高校入学時に資料としてもらいますが、今のうちにいくらぐらい学費負担するかを計算し検討していく必要があるかと思います。（ちなみに神奈川県生徒学費補助金は返還不要で年収約590万円未満の世帯には年間444,000円まで支援しています。）3年生は先日配布した水色の募集案内のP35～P39に詳しく書かれていますので、ご参考ください。また、神奈川県庁や横浜市役所のホームページにも記載されています。

14●要予約の高校の学校説明会は内申に関係あるのですか？

●平日の高校の学校説明会にはどうすれば良いでしょうか？

●夏休みの高校の学校説明会に生徒のみ参加でも良いのですか？

A 私立によっては予約の有無に関わらず、学校説明会に参加することで内申に加点する学校もあります。（例えば高校が45分の40という成績基準を出していて、自分の成績が39だった場合に、説明会参加で+1点という加点により成績基準をクリアすることになります。）中学校の授業がある時に高校の説明会に参加することは基本的にできない決まりになっています。ただ、土曜参観や学校行事と重なった場合は学校長の判断になりますので、ご相談ください。「保護者同伴」と明記されていないければ、生徒のみの参加も勿論可能です。

<勉強・成績・内申に関して>

15●行きたい高校に今の成績でいけるか？

A 私立の場合は成績基準が出ているので、いけるかどうか比較的判断しやすいですが、それでも当日の学力検査と面接などもありますので、最後まで気は抜けません。公立の場合は、学力検査・調査書・面接などの選考比率にも違いがあり、どんな成績でも大丈夫または無理とは言えません。不安な場合は担任の先生に相談してください。

16●部活3年間やると内申が上がるって本当ですか？

A 内申が上がるということはありません。私立高校の場合、内申に加点として「部活動3年間」活動していれば、内申点に上乘せするという設定をしている学校もあります。

17●英検や漢検以外にとっておいたら加点になるものはありますか？

A 英検や漢検以外には数検を加点にする私立高校もあります。その他には、ごくわずかですが珠算検定や書写検定、パソコン技能検定などを加点するところもありますが、詳しくは各私立高校の説明会などで確認するか担任や進路の先生に相談してください。

18●なんで3学年の1学期の成績(仮成績)を使わない学校があるのか？

A ほとんどの学校は受検間近の成績で判断しています。ただ一部の私立高校では1学期の成績でも良いと設定しているところもあります。
こちらでも高校の説明会で確認が必要になります。

19●親に楽させるために学費があまりかからないけど良い学校に行きたい。

A 親にとって、この質問は嬉しいですね。学費がかからないのはやはり公立高校です。ただ、私立高校でも学力成績や部活動の成績によって、特待生制度を設けているところもあり、授業料免除や入学金免除など学校によって様々なので、調べる必要があると思います。また、高校とは別に奨学金制度などもあります。

20●大会の賞状は1年生からのものでも良いのですか？

A 私立高校の加点項目で大会の結果を考慮してくれる学校もあります。ただ、その基準や期間などは学校によるので、確認が必要です。確認は直接高校でも良いですし、中学校の先生に相談しても構いません。また、加点項目には英検や漢検などを含んでいる学校もありますので、今までにもらった証明書や賞状などは大切に保管しておきましょう。

21●WEB出願について教えて！

A 私立の高校では年々、WEB上での出願が増えてきています。日にちや時間の確認が重要な場面があります。とにかく「期限切れにならないように。」「正しい情報を入力するように」気を付けましょう。今年度に関しては私立は書類選考に切り替えている学校も多くあります。情報管理をしっかりしましょう。

その他質問あれば、まず担任の先生や学年の先生に聞いてみましょう。

そこで解決が難しそうならば進路担当(秋澤)にお尋ねください。

第2回進路希望調査

提出締め切り10月15日

3年 組 番 生徒氏名

保護者氏名

- 現時点での、中学校卒業後の進路についての考えを書いてください。
- 1学期の成績をもとに2学期の成績を予想して、考えを書いてください。
 - 悩んでいる学校はすべて書いてください。
 - 私立は基準（出願できる成績や出席の数）をすべて調べましょう(高校で個別に相談を受けるのが一番安心です)。
 - 学科やコースによって基準が異なるので注意してください。
 - 加点項目は受験校・科・コース等によって異なりますので、高校に確認してください。

・成績がそのままの場合 9科合計 / 45の場合

公立		私立				
学校名(正式名称)	学科・コース	校名(正式名称)	学科	コース	見学・個別相談	加点項目
第1希望 (全日制・定時制)	科 コース	第1希望 (推薦・専願・併願・オープン)	科	コース	見学	
					月 日	
					個別相談	
					月 日	
第2希望 (全日制・定時制)	科 コース	第2希望 (推薦・専願・併願・オープン)	科	コース	見学	
					月 日	
					個別相談	
					月 日	

・成績が上がった場合 9科合計 / 45の場合

↑英検3級等

公立		私立				
学校名(正式名称)	学科・コース	校名(正式名称)	学科	コース	見学・個別相談	加点項目
第1希望 (全日制・定時制)	科 コース	第1希望 (推薦・専願・併願・オープン)	科	コース	見学	
					月 日	
					個別相談	
					月 日	
第2希望 (全日制・定時制)	科 コース	第2希望 (推薦・専願・併願・オープン)	科	コース	見学	
					月 日	
					個別相談	
					月 日	

・成績が下がった場合 9科合計 / 45の場合

↑英検3級等

公立		私立				
学校名(正式名称)	学科・コース	校名(正式名称)	学科	コース	見学・個別相談	加点項目
第1希望 (全日制・定時制)	科 コース	第1希望 (推薦・専願・併願・オープン)	科	コース	見学	
					月 日	
					個別相談	
					月 日	
第2希望 (全日制・定時制)	科 コース	第2希望 (推薦・専願・併願・オープン)	科	コース	見学	
					月 日	
					個別相談	
					月 日	

- ほかに候補にしている学校があれば記入してください。

↑英検3級等

- 進路について質問したいことや相談したいことを書いてください。

第 3 回 進 路 希 望 調 査

第3回進路希望調査

提出期限 12月●日(●)

1. 受験(検)を考えている学校名等を正式名称で記入してください。

公立

	県立・市立	学校名	全日・定時	科・コース等
A校	立	学校	制	
	立	学校	制	

※公立高校を受験しない場合は無記入で結構です。

※第一希望のみでも構いません。

※専門コース設置校以外は「コース」の記入は不要です。

私立(入試相談あり・一校のみ)

	学校名	科	コース・クラス等	推薦・専願・併願
B校		科		

加点等必要な場合はここに記入してください。

※私立高校を受験しない場合は無記入で結構です。

※必ず高校からの“基準”を満たしていることを確認してください。

※推薦を記入する場合は推薦希望書を記入します。(希望者は面談で提出。)

オープン(私立・国立)

	学校名	科	コース・クラス等	試験日	発表日
C校		科		月 日	月 日
D校		科		月 日	月 日
E校		科		月 日	月 日

※受験日程(出願や試験、合格発表等)に無理のない日程か確認しましょう。

A～E校の優先(入学希望)順位を記入してください。

第 1 希 望	↓	第 2 希 望	↓	第 3 希 望	↓	第 4 希 望	↓	第 5 希 望
校		校		校		校		校

2. 進路についての質問や相談したいことがあれば、記入してください。

3年 組 番 氏名

保護者氏名

印

面談の日に
持参してください。

受験（検）校確認票

令和3年 月 日

3年 組 番（生徒氏名） _____

（保護者氏名） _____ 印

（1）下記の私立高校を受験します。（※正式名称で書くこと。※生徒自身で書くこと。）

学校名(正式名称)	科	コース (クラス等) ※詳細に記入する	受験区分 (○をつけてください)
			推薦・オープン 専願・専願 (書類) 併願・併願 (書類)

※必ず高校からの“基準”を満たしていることを確認してください。

※私立高校を受験しない場合は、無記入で結構です。

※私立高校の受験校は、今後の変更はできません。（オープン除く）

※推薦を希望する場合は、推薦希望書を提出します。（希望者には面談でお渡しします）

※私立高校を2校以上（オープン）受験する場合は、下記スペースにご記入ください。

【オープン受験記入欄】

学校名(正式名称)	課・コース	試験日

（2）下記の公立高校を受検する予定です。（※正式名称で書くこと。※生徒自身で書くこと。）

	学校名	科	コース
第1希望			
第2希望			

公立高校を受検しない場合は、無記入で結構です。

※第1希望のみの記入でも構いません。

※専門コース設置校以外は「コース」の欄は無記入で結構です。

※公立高校の受検校は、今後の変更は可能です。その場合は、見込みで記入して提出をお願いします。変更する場合は、この用紙を返却しますので、二重線と訂正印で修正してください。

受験（検）校が決まっている場合は面談でご提出ください。最終締め切りは12月●日（●）

推薦希望書

推薦基準

- 中学校3年間の生活全般において、推薦にふさわしい人物であると判断できる。
- 本人保護者ともに、志願先の教育方針、教育内容等をよく理解し、志願する学科・コースへの明確な目的意識をもっている。
- 各志願先が事前に発表している推薦基準に達し、推薦条件に該当している。
- 将来を見据え、目的意識を持って、真剣に学習に取り組む姿勢がある。
- 中学時代に学んだ様々なことを進路先での生活の中で生かし、さらに磨きをかけ、よりよく発展させようとしている。

令和3年 月 日

横浜市立浦島丘中学校長

私は、 学校（ 科 コース）を

推薦受験することを希望いたします。

3年 組 番 生徒氏名_____

保護者氏名_____印